

## 様式集

- ◆様式1 知っておくべき5つのポイント、避難行動判定フロー
- ◆様式2 すぐに集められる防災グッズ
- ◆様式3 必要と考えられる物資
- ◆様式4 濃厚接触者への周知内容例
- ◆様式5 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト
- ◆様式6-1 避難所内掲示物（手洗い）
- ◆様式6-2 避難所内掲示物（咳エチケット）
- ◆様式6-3 避難所内掲示物（3密防止）
- ◆様式6-4 避難所内掲示物（症状の申し出）
- ◆様式7 入所時健康チェックシート
- ◆様式8 入所後毎日の体調管理簿

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、  
災害時には、**危険な場所にいる人は  
避難することが原則です。**

## 知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。  
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難すること**も考えてみましょう。
- **マスク・消毒液・体温計が不足しています。**できるだけ**自ら携行**して下さい。
- 市町村が指定する**避難場所、避難所が変更・増設**されている可能性があります。災害時には**市町村ホームページ等**で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。やむをえず**車中泊**をする場合は、浸水しないよう**周囲の状況等**を十分確認して下さい。



# 今のうちに、 自宅が安全かどうかを 確認しましょう！



ハザードマップ

検索

## 避難行動判定フロー

### スタート！ あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、**原則として**※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
②浸水する深さよりも高いところにいる  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

# 防災準備編

非常時に「あってよかった」防災グッズをまとめました。リストを参考に個人や家庭で必要なものをしっかり準備して、災害が起きてもおあわてない防災対策を心がけましょう。

## ● 基本の備蓄リスト

### 防災リュック

- 水
- 携帯食(乾パンや水をそそいでつくるアルファ化米など)
- モバイルバッテリー
- ラジオ、電池
- 手袋
- 救急セット
- ライト(懐中電灯など)
- 健康保険証や免許証のうし
- 数日分の着替え
- 保温アルミシート
- お薬手帳(コピー)

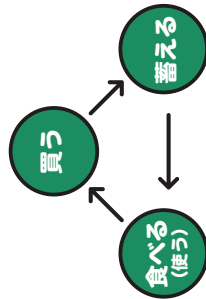
### 家のストック

- 水(飲料用、生活用)
- トイレレットペーパー
- ゴミ袋
- 保存のきく食品(缶詰など)
- レトルト食品、乾物など
- ラップ、アルミホイル
- キッチンバサミ
- パケツ
- カセットコンロ、ボンベなど

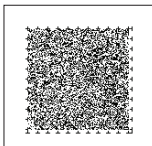
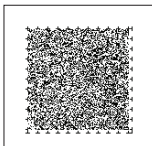
### 防災リュック

- 新聞紙
- タオルやてぬぐい
- 歯ブラシ
- ウエットティッシュ/おしりふき
- ビニール袋(大・小)/防臭袋
- マスク
- 携帯トイレ
- ガムテープ/養生テープ
- メモ用紙/ペン(油性ペン)
- 手指消毒剤
- 常備薬
- 体温計 **NEW!**

## ● ローリングストック



ローリングストックとは非常食を大量に蓄えておくのではなく、普段の買い物で少し多めに食材を買い、使った分をまた買い足す方法です。消費期限が過ぎてしまうことが少なく、安定的に食材を備蓄できます。



音声コード掲載

## ● あってよかった！役に立つ！防災グッズ10選

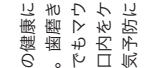
### 1 水のいらないシャンプー

災害時、水は貴重です。長期間お風呂に入れないときでも、水のいらないシャンプーは役に立ちます。



### 2 マウスウォッシュ

口腔ケアは身体の健康にもつながります。歯磨きができないときでもマウスウォッシュで口内をケアすることで病気の予防もつながります。



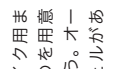
### 3 うわぐつ

物が散乱している所を裸足で歩くのは危険です。けが対策や避難所での上履きになるので用意しておきましょう。



### 4 基礎化粧品など

ケア用からメイク用まで最低限のものを用意しておきましょう。オイルインワンドジェルがあれば便利です。



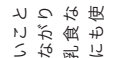
### 5 カイロ

身体を冷やさないと体が体調管理につながります。また、離乳食などを温めるときにも使えます。



### 6 虫よけグッズ

虫対策も大切です。自分や環境に合ったものを準備しておきましょう。



### 7 アロマオイルなど

災害が起こると、ストレスが溜まってしまいます。そんなとき、自分の好きな香りを嗅ぐと気分転換になります。



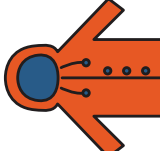
### 8 保温保溫のきく水筒

お湯をもらうときなどに便利です。温かいものを飲むと心も落ちます。また赤や黄色のミルグを作るときにも使えます。



### 9 レインコート

雨合羽としてだけでなく、寒さをしのぐこともできます。



### 10 生理用品・パンティライナー

下着の清潔さを保つためにも多めに用意しておきましょう。また、傷の手当やガーゼとしても役立ちます。

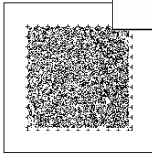


### ママ・妊婦の場合

- 日用品
- おんぶ紐、だっこ紐
  - 母子健康手帳
  - おしりふき
  - プランケット
  - 母乳パッド
  - おもちゃ
  - ガーゼハンカチ
  - 出産準備品
  - 健康保険証とかがベスト)
  - 哺乳瓶
- 食料品
- 離乳食
  - 粉ミルク
  - 飲料水
  - 軟料
  - アレルギー対応食
- 子ども医療受給者証のコピー

### 高齢者・介護者がいる場合

- 大人用おむつ、紙パンツ
- 杖
- 入れ歯、入れ歯洗浄剤
- 健康保険証のコピー
- 介護用品
- 老眼鏡
- 補聴器(補聴器用電池)



音声コード掲載

避難所における衛生環境対策  
として必要と考えられるもの

物 資
マスク
アルコール手指消毒液
体温計
非接触型体温計
除菌用アルコールティッシュ
タオル（ただし1回使用ごとに廃棄）
ペーパータオル
新聞紙（吐物処理用）
ハンドソープ
清掃用の家庭用洗剤
次亜塩素酸ナトリウム
フェイスシールド
カップ
使い捨て手袋（ビニール手袋も可）
ラップ
ポリ袋
レジ袋
ジップロック袋
ゴミ袋
バケツ
スプレー容器
蓋つきゴミ箱（足踏み式）
簡易トイレ（凝固剤式）
段ボールベッド（簡易ベッド）
パーティション

濃厚接触者への周知内容例

(表面)

濃厚接触者の災害時の避難について

大雨や台風接近時等に避難する際には、  
**下記の連絡先に必ず連絡したうえで、その案内に従い、**  
**避難先に避難するようにしてください。**

※避難の必要性については裏面を参照いただき、  
 ご不明な場合は下記連絡先にご相談ください。

○避難時の連絡先

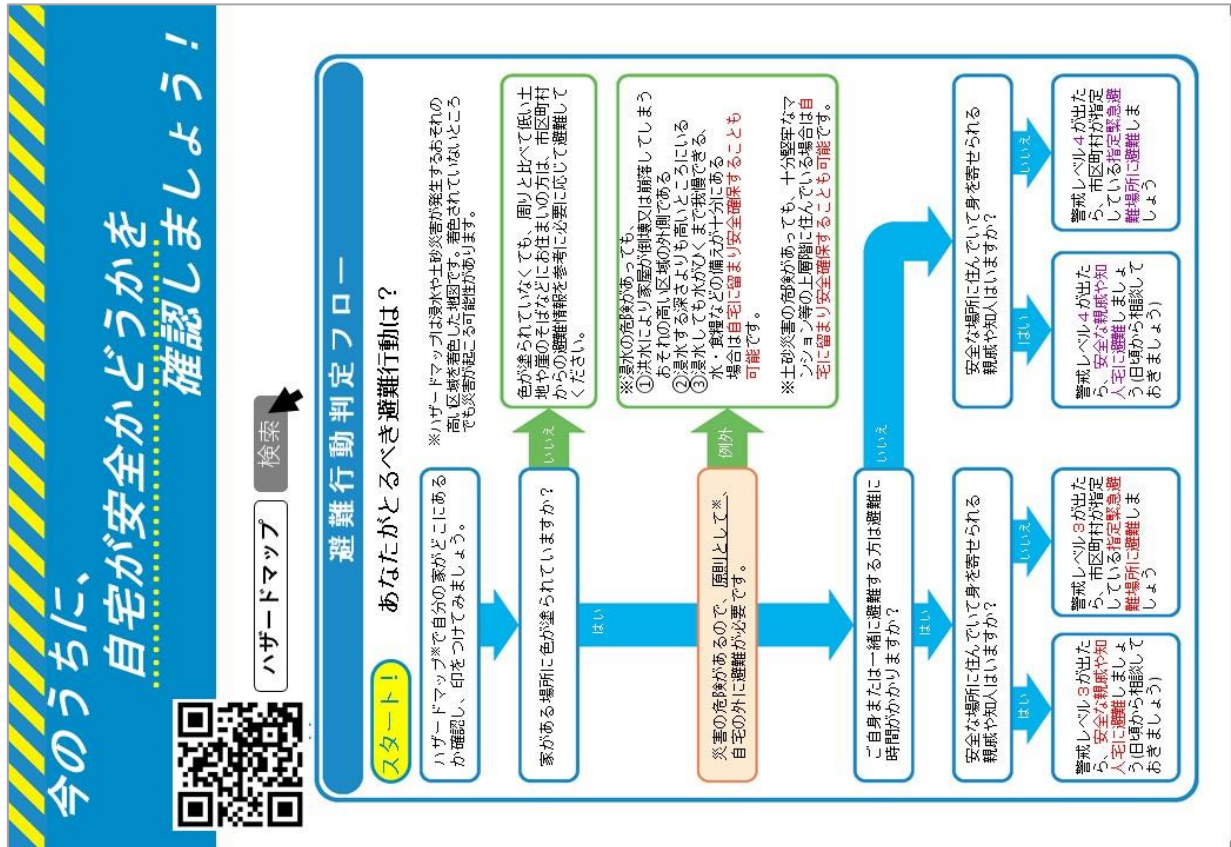
△市△課△係      電話：○○○○-○○-○○○○

○対応可能な避難先

避難先の施設名	避難先所在地
○○学校	△市△町△番・・・
○○センター	△市△町△番・・・
○○公民館	△市△町△番・・・
○○ホテル	△市△町△番・・・
○○	△市△町△番・・・

※上記の避難先が全て開設するわけではありません。**上記の連絡先に必ず連絡し、その案内に従ってください。**

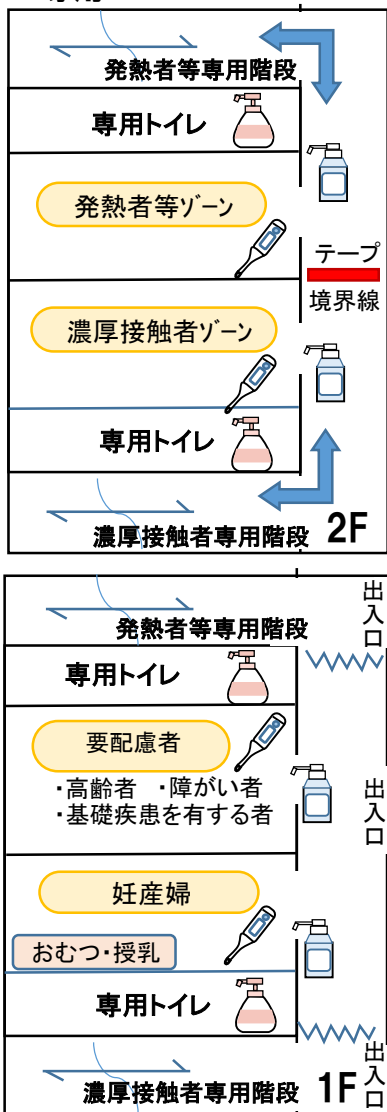
(裏面)



# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

R2. 6. 10  
第2版

## ＜専用スペース＞



専用階段、専用トイレの確保をする。(専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な人ととの兼用は不可。)

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

**軽症者等（一時的）**

- 軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法を決め、本人に伝えておくことが重要です。

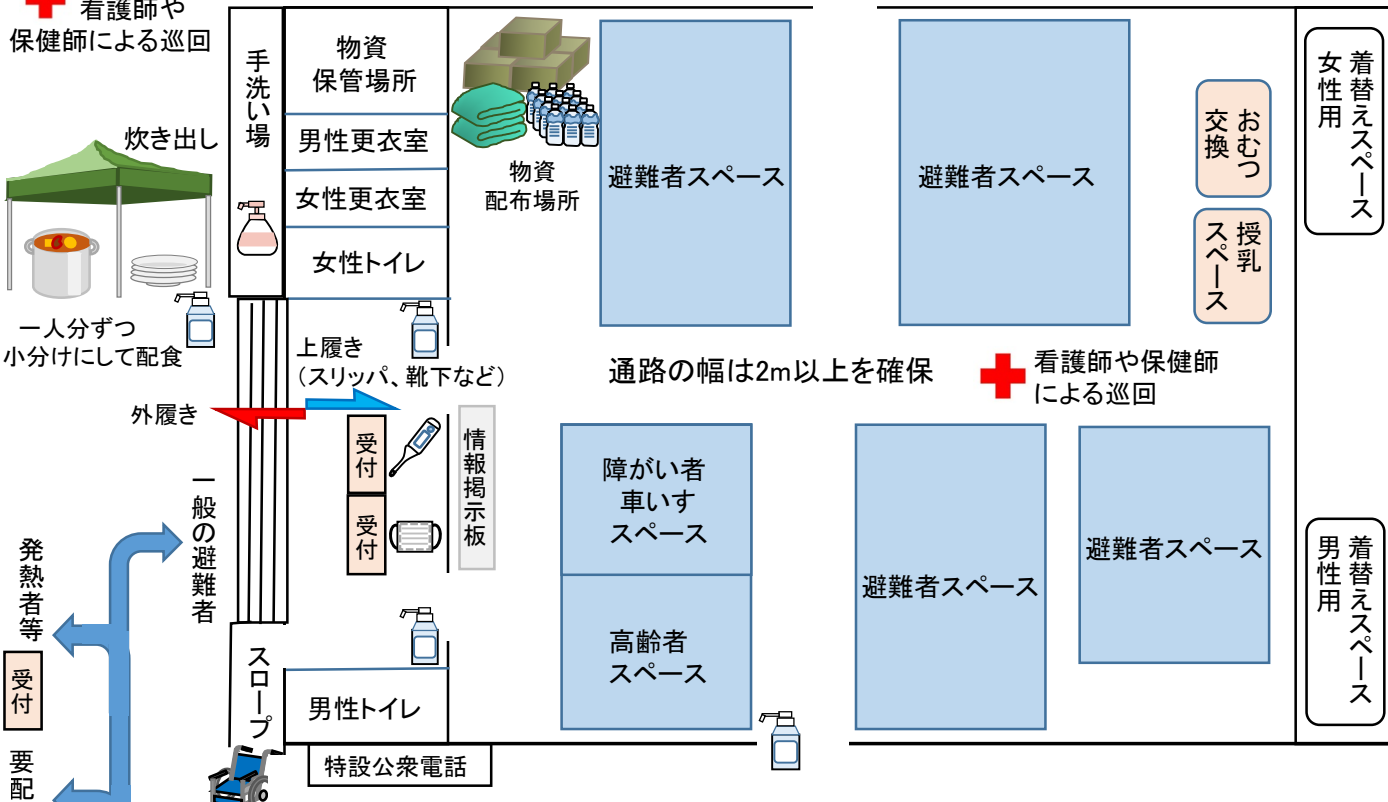
軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発症したと疑われる人の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。

同一建物の場合、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

## ＜集合スペース＞



受付等のテントについては、建物の窓の付近に設置しないよう留意する。



**受付時でのチェック**

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

**用意するもの**

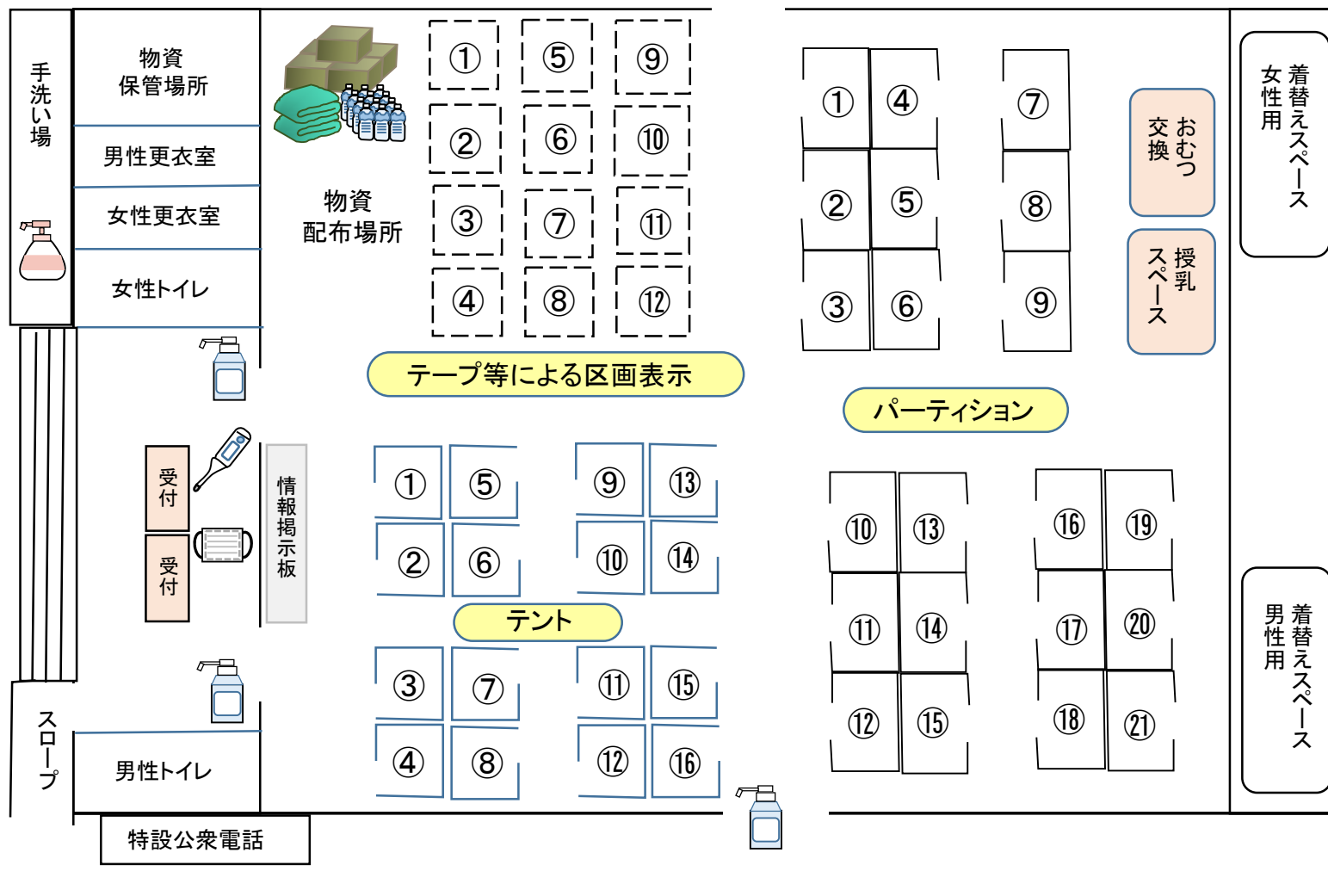
- ・体温計（非接触型）
- ・マスク
- ・アルコール消毒液（手指用）
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



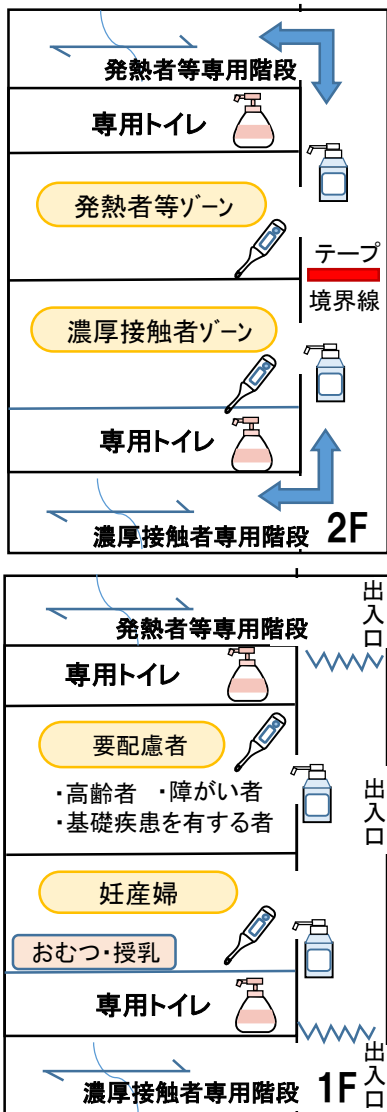


# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉

R2. 6. 10  
第2版

## 〈専用スペース〉

専用階段、専用トイレの確保する。  
(専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。)  
(健康な人との兼用は不可)



軽症者等 (一時的)

・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発症したと疑われる人の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。  
・同一建物の場合は、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

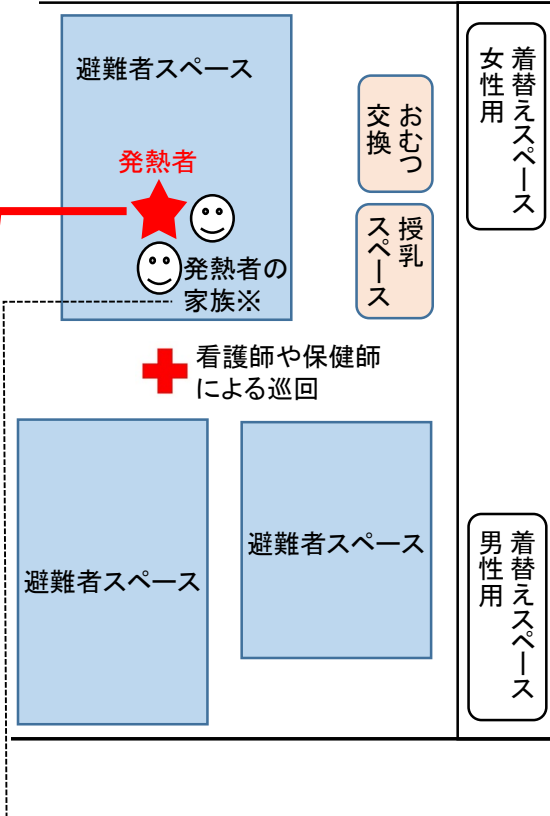
※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することが適当でないことに留意する。

看護師や保健師による巡回

## 〈集合スペース〉



発熱者経路 (Feverish person route)



看護師や保健師による巡回

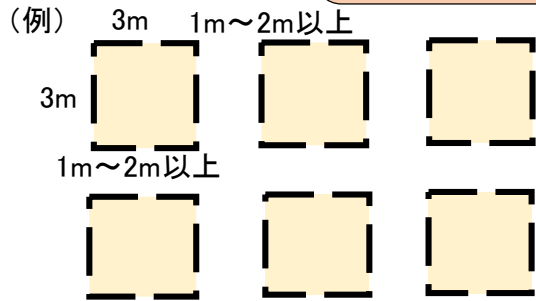
※必要に応じて発熱者の家族及び同居者用の専用スペースを確保することを検討

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

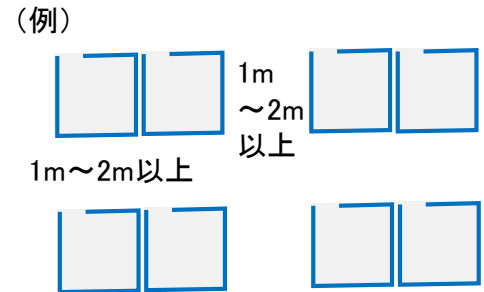
- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

## テープ等による区画表示



- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あける
- ※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

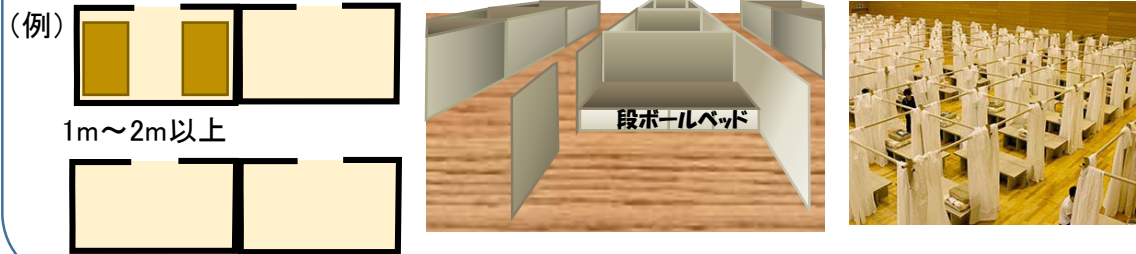
## テントを利用した場合



- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。

## パーティションを利用した場合

○ 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

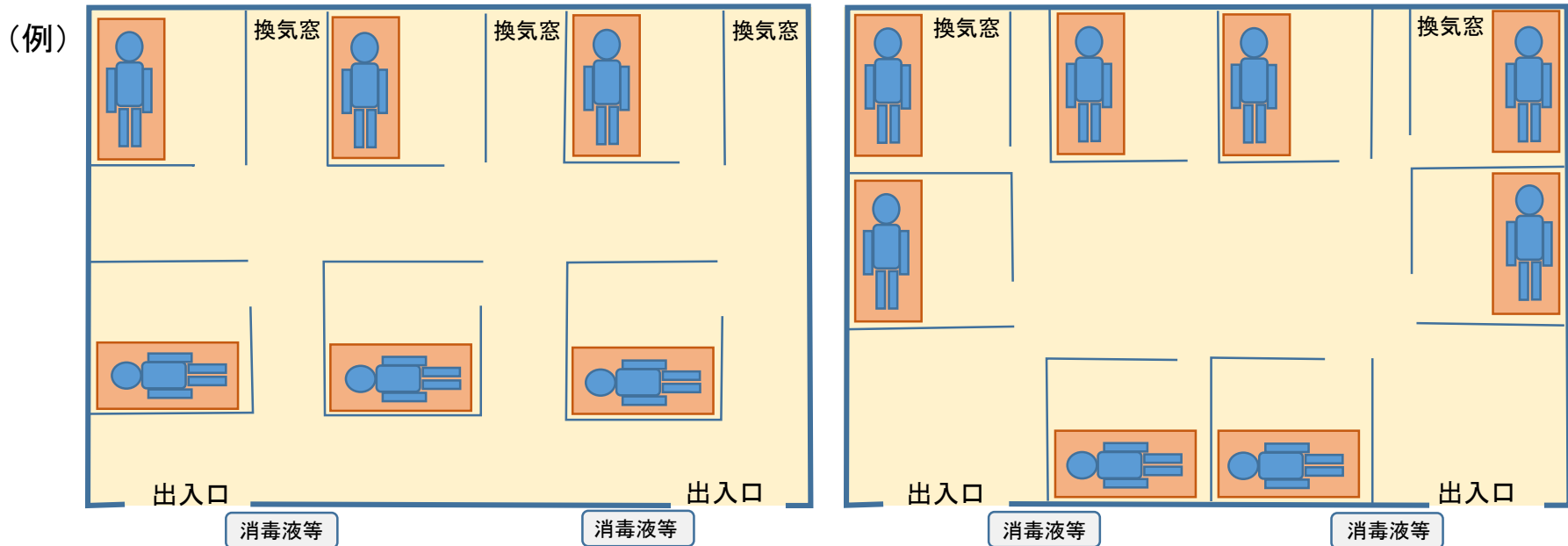


※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。  
※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。  
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

- 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、マスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。